

平成 30 年 6 月 25 日  
未来創造プロジェクト

中野区新図書館に関するグループインタビュー記録（テーマ：ビジネス支援）

実施日 平成 30 年 6 月 16 日（13：30～15：30）

場所 弥生区民活動センター

<参加者プロフィール>

	仕事	家族	どこで知ったか
A	高齢者の見守りシステム作成。会社代表。東京都の起業支援施設に入っている	妻と二人	知人の紹介
B	司法書士。司法書士行政書士事務所に勤務	妻と二人	知人の紹介
C	図書館関係の仕事	妻と子供一人	近くに住んでいるので
D	起業を勧められているところ	妻と二人	ポスターを見た
E	A さんと同じ施設のインキュベーション・マネージャ	妻と子供一人	知人の紹介
F	スマートフォンアプリの会社を経営	単身赴任	TCIC から聞いた
G	Web コンテンツ作成など	妻と娘二人	知人の紹介
H	産業推進の団体のスタッフ	妻と中高の子ども	TCIC の紹介

<自身の図書館の利用>

- ・ウォーキングする中で立ち寄る感じ。自分が好きで行く施設。公が出している情報がキャッチできればいいと思う。
- ・目的もなく行く。新刊のもの、趣味（パソコン）のものなどを利用。パソコンの解決用に見る。お金がかからないので中身をあまり吟味せずにまとめて借りられる。土日などに利用。

- ・集中して休めるときに利用。大量のものを読む。このあたりのものを全部読む、この人のものを全部読むなど。(仕事には関係ないものを利用)
- ・最近あまり利用しない。返却がネック。買ってしまう。
- ・今はあまり利用しないが、以前は集中できる場所として利用していた。
- ・子どもの本を利用する。
- ・仕事の関係では、法律関係の専門書や法律雑誌のバックナンバーなど。個人ではあまり所蔵できないものを利用。

### <図書館に求めたい資料>

- ・マーケティングのデータなどがほしい。特定の商品の市場規模を知りたいなど。専門的なものやネットでは検索できないもの。電通の図書室まで行ったこともある。外部に提出する企画書や事業計画書を作成する場合にデータが必要になる。
- ・民間調査機関の調査結果など。サマリーはネットに上がっているが本体は買わなければならない、非常に高価。個人では買えない。
- ・法律の改正履歴や過去の判例など。最近のものはどこにもあるので情報の集積が図書館に期待するところ。
- ・統計データ。ある特定のデータだけ示されてもそれが妥当かどうかはわからない。統計のウソを見破ることができるような統計データがほしい。
- ・ネットに出ているのは一部なので、図書館では表面的なものだけでなく系統的にそろえてほしい。
- ・放っておけば消えてしまうもの、意識しなければ保存できないものを収集保存する。例えば漫画の原画、手稿など。

### <ビジネス支援の場として求める機能>

- ・起業のためのコワーキングスペースを作ってほしい。  
(はっきり区切られている必要はない。ローパーティションかパーティションなしでもOK → むしろその方が交流できてよい。)  
(図書館の中にオフィスを持っているというのは、それ自体面白くメリットがある。)
- ・集まれる場所がほしい。共通の関心を持つ人が接触できる。純粹に打ち合わせができるスペースという意味でも。

- ・図書館は情報があふれている。それにプラスして共通の関心を持つ人が集まれる場所であればよい。
  - ・自分はコンピュータが好きなので、PC のスキルアップができるような勉強会を図書館がやるというのはいいのではないか。ビジネス支援になる。
  - ・課題や問題を図書館が解決するのは難しいだろう。解決への道筋、専門の人や機関を紹介してくれるというのがいいのではないか。
  - ・カフェのようなスペースは良い。本とカフェは相性がよい。人が集まるきっかけになる。
- 
- ・社会実験や開発した製品のテストのために、この施設に来館してくる人々がフィールドになるようなことができれば面白い（様々な世代の人、様々な属性を持つ人があつまるので）
  - ・図書館に勉強しに来る学生、高校生が沢山いる。そこで起業支援、ビジネス支援の取り組みをしていることは学生にいい影響を与えるのでは？スタバで仕事しているビジネスマンをカッコいいとみるように。
  - ・起業のためのスペースを貸す代わりに、施設の参加者（学生など）になにか還元してもらおう（新しいアプリの使い方を教えるなど）といいのではないか。
- 
- ・いきなり起業はハードルが高いが副業なら始められる人が多い。副業で経験を積んで起業することもある。副業を支援する、図書館内に副業の場所をつくる（ボランティアも含む。）のもいいのではないか。
- 
- ・中野区出身の有名人、例えば社長のリコメンド本コーナー（社長の本棚）なども面白いかも。
- 
- ・起業のための書類の書き方を相談できる場があると良い。
  - ・起業のためのワンストップサービスがあると良いのでは？（会社を起こすと大変多くの役所に手続きをしなければならない）。起業者にも、外国の会社などにとっても。

### <相談できる人>

- ・コンシェルジュのような人が必要（TCIC のインキュベーション・マネージャのような人）

- ・このようなことを知りたいのだが何を見ればよいかわからないという場合がある。それを教えてくれる人がほしい。
- ・相談する人を置いても、実際には相談はしにくいのでは？
  - テーマと時間を決めると相談しやすい。今日の何時からはこれに関することの相談会というように。
  - こういう人が来るので相談がある人は来てください、という方法もある。
  - 何かの中身に詳しい人を置く。ヨドバシカメラのスタッフのように

### <その他>

- ・図書館ごとの個性をもっと強める、図書館の押しを強めるのも一つの方法では。
- ・話題、テーマごとのメーリングリストを用意しておいて、登録するとそのテーマに関する行事や資料の紹介などが届くというシステムはどうか。図書館側からの発信があると参加しやすい。
- ・就業支援、再就職支援もやってほしい（特に女性の再就職支援）
- ・自分の本を作りたい人が多い。自費出版を支援し、作った本を図書館で受け入れるようにしたら良い（その人が起業家だったらビジネス支援になるし、地域の歴史の資料にもなる。）
- ・ビジネス支援を前面に出すのであれば「図書館」という名前は変えた方がいいのでは？
- ・知恵が集まってくるところ、体験が積めるところであってほしい。